

# 染

六年

画数 9  
筆順 シ

染

〃〃みる  
〃〃まる

成り立ち



〃〃〃  
〃〃〃  
〃〃〃  
〃〃〃  
〃〃〃

「汁」の意味の「シ」と、「数の多い」ことを表した「九」と、「木」とを組み合わせて作った字です。

昔は、草や木の汁に、何度も何度も（九）つけて、色づけしました。

「色を〃〃める」ことを表した字です。【例】染色、染料。

また、「物に〃〃まる」意味で、「病気がうつる」「影響を受ける」という意味にも使われます。【例】感染、伝染、汚染。

「染まる」ことを「染みる」とも言います。

使い方

▽絵の具がシャツに染み着いて、お母さんに洗ってもらいましたが、落ち切れません。

▽食堂のじゅうたんで、ぼくがすわる所の下にだけ、染みがあります。ぼくが食べ物をよくこぼすせいで、ぼくははずかしく思います。

▽かぜは伝染しますから、かぜを引いた時には学校を休んだ方が良くと思います。

熟語例

▽染み着く（深く染まること。）

▽染み（染まること。また、染まった部分のこと。また、

「よごれ」）

▽染色（色染め。また「染めた色」のこと。布や糸を染めることです。）

▽染料（色を染めるのに使う材料）

▽伝染（伝は「人から人に伝わる」こと。「病気が移る」ことを言います。また、影響を受けて同じような状態になることにも使います。【例】あくびが伝染する。）

▽汚染（毒物や放射能などの影響で、水や空気や食べ物が汚れること。）

# 善

六年

画数 12  
筆順 ヴ

善

成り立ち



〃〃〃  
〃〃〃  
〃〃〃  
〃〃〃  
〃〃〃

「美（年3403）しい」という意味を表した「羊（年3431）」と、「言」という字を組み合わせて作った字です。

「美しい言葉」という意味を表した字です。

今は「美しい行い」「りっぱな行い」という意味に使われています。【例】善行、善意、善人、善政、最善、次善。

「良くする」意味にも使います。【例】改善。

また、「仲良くする」意味にも使います。【例】親善、善隣。

使い方

▽自分が善い事をした時でも、人が善い事をしているのを見た時でも、自分の心が明るくなりますが、悪い事をした時、人の悪い行いを見た時には、暗い、いやな気持ちになります。

▽ぼくは「人事を尽して天命を待つ」という言葉を学びました。何事でも最善を尽くすことが大切だと思います。

熟語例

▽善人（心や行いが善い人）

▽善行（善い行い）

▽善意（人に善くしてやりたいという意志。「善い意味」という意味にも使います。【例】善意に解釈する。）

▽善政（善い政治。国民本位の政治）

▽最善（最も善いこと。自分とできると思われる一番善い事。）

▽改善（欠点を改めて善くすること。）

▽親善（親しみ仲良くすること。【例】首相は両国親善の目的で訪問した。）

▽善隣（隣と仲良くすること。）